ことわざ

古くから世間で言いならわされてきた教訓的な言葉を**ことわざ**という。

- **石橋をたたいて渡（わた）る**……用心に用心を重ねる、大変慎重（しんちょう）な様子。
- **馬の耳に念仏**……人の意見を聞き流し、少しも聞き入れようとしないこと。
- **果報は寝（ね）て待て**……幸運は人力ではどうすることもできないので、静かに時機を待つのがよいということ。
- **弘法（こうぼう）にも筆の誤り**……その道に長じた人も時には失敗すること。
- **三人寄れば文殊（もんじゅ）の知恵（ちえ）**……平凡（へいぼん）な人も三人集まればすばらしい知恵が出るものだということ。
- **知らぬが仏**……知らないから、平気でいられること。
- **出る杭（くい）は打たれる**……頭角をあらわす者は人から憎（にく）まれがちだということ。
- **灯台下（もと）暗し**……身近なことはかえってわかりにくいものだということ。
- **泣きっ面（つら）に蜂（はち）**……不運なときに、さらに不幸が重なること。
- **花よりだんご**……風流なものや外見がよいものよりも、利益のあるものを重んじること。
- **身から出たさび**……自分の行いが原因で災（わざわ）いにあうこと。
- **焼け石に水**……少しの援助（えんじょ）や努力では効果がないこと。

故事成語

中国の古典に記された話など、言い伝えられている昔の出来事がもととなってできた言葉を**故事成語**という。

- **覆水盆（ふくすいぼん）に返らず**……一度してしまったことは取り返しがつかないということ。
- **他山の石**……他人のつまらない言動も、自分への戒（いまし）めや人格を磨（みが）くのに役立つということ。
- **背水の陣（じん）**……一歩も引くことができない立場で、全力で事に当たること。
- **塞翁（さいおう）が馬（人間万事（ばんじ）塞翁が馬）**……その人にとって何が幸か不幸かは、予測しがたいということ。
- **竹馬（ちくば）の友**……幼い頃（ころ）からの友人、幼なじみ。

誤用されやすい表現

- **浮足立（うきあした）つ**……恐（おそ）れや不安でそわそわする。
- **気が置けない**……気遣（きづか）いしなくてよい、心から打ち解けられる。
- **敷居（しきい）が高い**……相手に不義理をしたために、その人の家に行きにくい。
- **ぞっとしない**……面白（おもしろ）くない。
- **情けは人のためならず**……人への親切は、やがてよい報（むく）いとなって自分に返ってくる。

確認テスト

(1) 次のことわざの意味を、それぞれア〜エから選びなさい。

① 雨降って地固まる　② 枯れ木も山のにぎわい
③ 朱に交われば赤くなる　④ たで食う虫も好き好き

ア 人は交わる友人によって善にも悪にもなること。
イ つまらないものでも、ないよりはましであること。
ウ 人の好みはさまざまであるということ。
エ もめごとの後にかえってよい状態になること。

①［　　］②［　　］③［　　］④［　　］

(2) 次のことわざと似た意味のことわざを、それぞれア〜エから選びなさい。

① 医者の不養生［　　］　② 猿も木から落ちる［　　］
③ 月とすっぽん［　　］　④ のれんに腕押し［　　］

ア 弘法にも筆の誤り　イ 紺屋の白袴
ウ 提灯に釣り鐘　エ ぬかにくぎ

(3) 次の故事成語の意味を、それぞれア〜エから選びなさい。

① 杞憂［　　］　② 漁夫の利［　　］
③ 蛍雪の功［　　］　④ 五十歩百歩［　　］

ア 当事者が争うすきに第三者が利益を横取りすること。
イ 苦学した成果、また、苦労して学問にはげむこと。
ウ 少しの違いはあっても、本質的には変わらないこと。
エ 心配する必要のないことを心配すること。

(4) 「気が置けない人」の意味を選びなさい。

ア 油断ならない人　イ 気が許せる人

［　　］

(5) 「情けは人のためならず」の意味を選びなさい。

ア 情けをかけることは、かえってその人のためにならない。
イ 情けをかけることは、自分によい報いとなって返ってくる。

［　　］